

教えて! 石黒組合長

管内の農業と
当JAの営農関連
事業について

Vol.7



石黒 秀一
代表理事組合長

～組合員だからこそ知ろう!JAのコト～

JAあいち尾東管内の農業について

当JA管内の耕地面積及び農業従事者数は減少の傾向です。
また、農業従事者数を比較しても全地域減少しております。

耕地面積

(単位:ha)

	瀬戸	尾張旭	長久手	日進	東郷	豊明
2008年度	331	138	259	485	387	536
2017年度	297	132	206	454	368	507
増減	▲34	▲6	▲53	▲31	▲19	▲29

参考:東海農林水産統計年報

農業従事者数

(単位:戸)

	瀬戸	尾張旭	長久手	日進	東郷	豊明
2010年度	418	145	329	1,111	759	1,014
2015年度	327	98	229	904	525	774
増減	▲91	▲47	▲100	▲207	▲234	▲240

参考:農林業センサス

当JAの営農事業の取り組み

これらの課題に対して、当JAはさまざまな取り組みを行っています。

①農地保全

耕作放棄地の解消や農業生産法人の生産基盤強化につなげるため、農地中間管理機構を通じた農地集積に取り組み農地の保全を行っています。

②担い手支援

(1)講習会等の開催

春夏・秋冬栽培講習会、剪定講習会やトラクタ講習会等の開催を通じて、様々な農業者を対象に農作業や機械のメンテナンス等、基礎から学べる講習会を開催し、担い手支援に取り組んでいます。

(2)営農相談

各営農センターにて営農相談の受付を行っています。

(3)出向く営農活動

産直出荷者や作目別生産部会を中心に農業者の圃場へ直接出向き、端境期にも出荷できるような作付け提案や栽培指導、情報提供等を行い、農家所得向上に取り組んでいます。

(4)新規就農者育成の取り組み

●就農相談

各営農センターが行政と連携し、就農相談に取り組んでいます。

●女性のアグリスクール

農の役割や地産地消の大切さを実感していただく目的で実施しています。「初級」「中級」と2コース設定し、「中級」は産直出荷者を育成するコースとして生産から出荷まで学ぶカリキュラムに取り組んでいます。



農業生産法人による農作業の様子

農業者が安心・安全に農作業を行えるよう、トラクタのメンテナンスポイント等の講習を行っています。

営農相談員が農業に関するご質問やご相談にお答えします。



長期出荷を目指す栽培計画や新野菜等の提案・指導を行っています。



トラクタ講習会



収穫の様子



アグリスクール生が出荷する農産物にはシールが貼ってあります。

次回は、当JA組合員組織の協同活動について解説します。